



日本共産党区議会議員

こんには伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-7-23
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770

http://www5.famille.ne.jp/~k-itou/index.html

935億円! 区民のくらしよりも「ためこみ」優先!

補正予算討論より

12月10日に行なわれた本会議で、日本共産党区議団は補正予算に対し反対討論を行いました。その要旨をお伝えします。

区民生活への支援 補正予算で反映すると言っていたのに!

原油・原材料高騰、物価高に続く金融危機と不況の波は、区民と中小起業者を覆い、廃業・倒産もでてくる中、何とか年をこそうと区の緊急融資には申込者が殺到していることが、補正予算審議で明らかになり、また、非正規雇用の解雇・雇止めや採用内定の取り消しも区民を不安に陥れています。今補正予算は、こうした区民の不安を緩和し、くらし

ためこみ金

使い道もあいまい 安易に貯め込む

第一に、あらかじめ予定されていた決算剰余金の残や、都区財政調整交付金当初算定の残など主な歳入のほとんどを積み立て、基金総額は史上最高を更新し935億円、義務教育建設基金は40億円積み増して298億円に達しました。

過大な見積もり

基金や義務教育建設基金そのものを否定するわけではありませんが、委員会の質疑で明らかになったように、学校改築にあたり、何校リファインで、何校改築するのか、総額いくらかかると見ているのか、うち補助率2分の1に増額された国庫補助はいくらになり、起債はいくらかなど、計画全体の財政規模も明らかにしていません。緊急に求められる区民施策に回すことなく、安易に積み立てに回したと言わざるを得ません。細部を見れば、1校あたり10億の一般財源が必要としましたが、リファ

新たな用地購入に7億円

27番目に狭いから?

第二に、同様なことは中央本町の用地購入についても言えます。弥生小学校の土地が狭いから隣接する土地3500mを6億9900万円余、ほぼ全額起



区の緊急融資申し込み 2060件

国のセーフティネット融資も1000をこえる申し込み

足立区産業センター 窓口申し込みの列

「年内に融資を」「全庁を上げて経済対策を」―日本共産党が緊急要求

10月1日から受付を開始した区の緊急融資は、日本共産党の「期限延長を」の要求がみのり、今月25日まで申し込みを受け付け、対策予算も増やしました。

申し込みが殺到し、受付窓口の千住の産業センターには申し込みの列ができ、12月15日現在で2060件、国のセーフティネット補償融資も、1000件をこえました。

7300万円

二九人の株主のために税金つき込み株を買い取る!

債という借金を組んで購入する提案ですが、弥生小学校の面積は区内72の小学校のうち、27番目でとりたてて狭いわけではなく、この時期にあえて購入する必然性はありません。教育の環境整備は大切ですが、現場や地域のニーズに合わせて充実にすべきで、一方で塩漬け土地を安い値段

総務委員会で与党議員から用地購入に批判続出!
「購入する用地は、接道要件も悪く、民間では買い手がつかない用地だ(自民)」、「あえて買う必要があるかといえは全然ない(自民)」

で売りさばっている時代に、一箇所の土地を7億円近くも出して購入することは、区民の理解を広く得られるものではありません。さらに本補正予算では、シアター1010を運営する株式会社コミュ

ニティアーツの解散にあたってまで、税を投入する予算をくんでいることも重大です。総務委員会の質疑で、区は「買い取ってほしい」という事態も想定される。「株主の買取希望があれば、それに応える予算」というだけで、7300万円の内訳として、

年末助け合い

北部ふれあいまつり

12月21日(日)
午前10時開会



陣川戸公園

保木間5-17
コープ東京花畑店
花畑区民センター近く

主催・北部ふれあい実行委員会

であり、会社法にもとづく清算で、充分に株主への責任も果たせます。

これだけで区民を
応援できるのに!
10万人が受けられる
腎臓病のクリアチニン
検査の復活 = 1000万円
他区でやっている子
ども医療費の入院給食
費助成 = 600万円

一方、区民などからの要望の強い施策も予算化されていません。区は委員会です。経済対策を優先したから、だといいました。用地購入や、29人の

22名の個人と7団体の株主のために7700万円余の予算を計上するより、補正予算というならもつと他にやるべきことがあるのではないのでしょうか!



くらし・雇用まもれ街頭相談をする
伊藤和彦区議(西新井駅東口)

経済対策優先とはとてもいえない!

額面5万円の株を一株85726円で、区以外の株主が保有する860株全てを買取る想定で予算化したことが明らかになりました。しかし、「何人買取りの意向があるか」の質問にも答えられず、何人分買取り取るかもわかりません。しかも赤字だからと、額面より

一株3万5千円以上上乗せした金額で予算化していますが、もともと運営に関わる費用は全て区民の税金を投入してきたもので、赤字分を「株価にのせて株主に分配することや、処分にあたっても更に税を投入することは、区民の理解を得られるものではありません。

株主のための予算、基金積立など、くらしを応援する事業より優先されているのです。とても経済対策を優先したといえるものではなく、認められるような補正予算ではありません。区は、区民生活を真に応援する立場に立たれることを強く申し上げ、討論を終わります。

竹ノ塚駅にエレベーター設置



足立区議会 厚生委員会
で東武伊勢崎線竹ノ塚駅
にエレベーター設置の報告が
ありました。
区ではバリアフリー化に
ついて各鉄道事業者に早
期整備を要望し、整備の
一部を助成することで、高
齢者や障害者をはじめ、
だれもが安心して生活でき
るまちづくりをすすめてい
ます。



ホームにエレベーターが設置され
る東武線竹ノ塚駅(12月17日)

改札階からホームに行ける
エレベーターは12月末から利用できます

今年度は、竹ノ塚駅の改札の所から駅ホームにエレベーターで行けるようになるように設置されました。鉄道事業者から利用は、12月末からと出来ると連絡がありました。
総工費6900万円。区の助成は2300万円です。のうち、1150万円は都から区への補助金・交付決定額(がされるとしています。階段部分は撤去工事が1月まで行われますが、安全面に問題がないため先行してエレベーターの利用ができます。
高齢者や障害者には朗報となりました。

